**5　地域リハビリ提供体制推進事業**

　　住民が住み慣れた地域で自分らしく、生きがい・役割をもって生活できる地域の実現をめざし、圏域の地域リハビリテーションの課題の共通認識と課題への具体的な対応策について検討し、取り組みを進めた。

　(1)甲賀管内地域リハビリテーション担当者会議

日　時： 平成28年10月13日（木）

内　容： ・実態調査（2号被保険者・前期高齢者のサービス利用等ニーズ調査、脳卒中

患者実態調査）について

　　　　・自立支援型地域ケア会議を通した、自立支援型ケアマネジメントの推進につ

いて（先進地視察研修、報告会・研修会）

　　　　・甲賀圏域地域リハビリテーション推進会議について

　　参加者：7人

　(2)介護予防先進地視察研修

目　的：自立支援型地域ケア会議の先進地を視察し、甲賀圏域における自立支援型ケアマネジメントおよび介護予防の推進を図る。

日　時： 平成28年11月1日（火）～11月2日（水）

内　容：(1) 自立支援型通所デイサービスの視察および情報交換

デイサービスセンター楽（株式会社ライフリー）

　　　　　　(2) 自立支援型地域ケア会議（大分県杵築市）

　　　　　　　　　自立支援型地域ケア会議および情報交換

※視察前に学習会、視察後に報告会、研修会（甲賀市主催）等を開催。

参加者：18名

管内：14名 （医師３、理学療法士2、作業療法士2、言語聴覚士1

介護支援専門員3、保健師3）

県庁、リハセン：4名 (医師1、理学療法士1、保健師1、事務職1)

　(3)実態調査

①「甲賀圏域脳卒中患者実態調査」

　目的：滋賀脳卒中登録データから圏域の脳卒中の発症動向および特性、社会復帰などの状況を明らかにする。

対象：平成23年（1月～12月）　滋賀脳卒中データセンターの甲賀圏域患者データ

内容：年齢別、疾病名、重症度、後遺症等

調査時期：平成28年12月

　　　結果：平成23年1月～12月の脳卒中発症患者数：299人

　　　　　　64歳以下：77人（25.8％）　65歳～74歳：71人（23.7％）

　　　　　　脳梗塞177人（59.2％）脳出血94人（31.4％）くも膜下出血23人（7.7％）

②「2号被保険者・前期高齢者の介護保険サービス利用実態調査」

　目的：2号被保険者・前期高齢者で介護保険サービス利用者のサービス利用の実態および通所系サービス利用についてのニーズを明らかにし、新たなサービス（資源）の創出にむけた基礎資料とする。

対象：居宅介護支援事業所、小規模多機能事業所の介護支援専門員　138名

内容：平成29年2月1日現在の40歳～74歳の担当ケースについて

「現在利用しているサービス」「通所系サービスの利用ニーズ」等

郵送による自記式調査、FAXにより回収（調査期間：平成29年2月～3月）

　　　結果：回答者：101人（回収率73.3％）

　　　　　　40歳～74歳の利用者369人。通所系サービス利用していない者113人（36％）

うち、通所系サービス利用ニーズがある者42人（31.6％）利用しない理由として、「若い人向けのサービスがないため利用していない者」66.7％

**6　住み慣れた地域での療養・看取り推進事業**

　　在宅におけるターミナルケア・看取りを推進するため、在宅療養に携わる関係者のネットワークの構築を図り、従事者の技術力の向上および一般住民の啓発を行った。

(1)在宅医療推進フォーラムの開催(共催)

　　　開催日：平成29年2月5日（日）

テーマ：「大丈夫？大丈夫！」

講演「在宅で看取る・・・在宅緩和ケアのコツとポイント」

　要町病院　副院長　要町ホームケアクリニック院長・医学博士吉澤明孝氏

寸劇「【家で最期を迎えたい】その思いを支えます」甲賀市社会福祉協議会

パネルディスカッション「在宅い・ろ・は」

参加者：234人（住民81人、関係者153人）

（2）関係者のネットワークの構築、従事者研修会等

①甲賀湖南うつ病・認知症・在宅医療等懇話会（共催）

○第11回　開催日：平成28年5月26日（木）

　講演「高齢者のアルコール健康問題の理解とかかわりの視点～断酒への援助と接種指導の考え方～」滋賀県立精神医療センター　濱川浩医師

事例検討「アルコール関連問題を抱える高齢者とその家族に対し多職種にて連携して支援を展開した事例」甲賀市水口地域包括支援センター　坪田知子保健師,　訪問看護ステーションさら　丸田美津子所長

　　　　参加者：71人

○第13回　開催日：平成29年1月26日（木）

事例検討「若年のがん末期の患者を在宅で看取った事例」

　　　　　　今村医院院長今村陽一氏,訪問看護ｽﾃｰｼｮﾝさと水口鹿深ｻﾃﾗｲﾄ所長鵜飼ゆかり氏

事例検討「嚥下障害があり、経口摂取をめざして栄養士と連携した事例」

　　　　　　やまもと内科・外科ｸﾘﾆｯｸ院長山元俊行氏,公立甲賀病院管理栄養士中井美加氏

訪問看護ｽﾃｰｼｮﾝさと水口統括所長駒井和子氏,NPOみなくちｹｱﾌﾟﾗﾝｾﾝﾀｰ介護支援専門員市野順子氏

参加者：55人

　②甲賀圏域地域連携検討会（共催）

圏域の医療介護関係者が共に学び、意見交換を行うことで、その資質向上と顔の見える関係づくり（ネットワークづくり）を進め、「医療と介護の連携」による在宅療養支援体制の構築を目指す。事務局を管内７病院・甲賀市・湖南市・甲賀保健所が担う。

　　　○事例検討会

・第１回　開催日： 平成28年11月14日(月)

事例概要「入院を機に介護保険を申請したケースの退院支援」

～新規ケースに対する情報収集～

　　　　　　　参加者：33人

・第２回　開催日：平成29年1月11日(水)

事例概要「医療依存度が高く、軽度認知症のある独居高齢者への入退院支援」

～地域住民からの生活情報の収集～

　　　参加者：25人

　　　○会議

　　　　　　開催日：4月18日、9月12日、10月12日、3月13日

　　　　　　内容：事例検討会の準備と評価、入退院支援ルールの評価と改善についての検討、病院と介護支援専門員の連絡調整会議企画、情報交換等

③在宅ターミナルケア研修（共催）

　がん患者を地域で支えるため、地域における緩和ケアの質的向上、量的拡充、在宅

緩和ケアチーム体制の整備を図ることを目的とする。（公立甲賀病院主催）

　　講演「病院から介護まで地域のチームとしておこなう緩和ケア研修」

　　　　　　　～ここまでできる在宅医療～

　　　　　　新国内科医院(強化型在宅療養支援診療所)

看護師長　がん看護専門看護師　宇野さつき氏

開催日：平成28年12月9日(金）

場所：公立甲賀病院

参加者：78名

④在宅医療従事者スキルアップ研修（共催）

　地域の医療従事者が公立甲賀病院の医療技術を参考に、在宅医療のスキルを向上さ

せることを目的とする。（公立甲賀病院主催）

　　講演「在宅医療で役に立つ緩和ケアテクニック」

　　　　　　公立甲賀病院（緩和ケアチーム）

緩和ケア内科部長　　　　　　　　　岡垣　哲弥

薬剤師（緩和薬物療法認定薬剤師）　林　千裕

看護師長（緩和ケア認定看護師）　　中村　洋美

開催日：平成28年11月24日(木）

場所：公立甲賀病院

参加者：57名

**7　退院支援ルール策定・評価事業**

　　医療と介護の切れ目のない連携を図るため、病院スタッフと介護支援専門員の連携に関する調査にて評価を行い、入退院支援における連携のあり方（入退院支援ルール）を協議検討した。平成28年3月には甲賀圏域ケアマネタイム（改訂版）として、入退院支援ルールの流れや、情報共有のための様式をまとめた冊子を作成した。

(1)病院と介護支援専門員の連携に関する調査の実施

目的：入退院における病院と介護支援専門員の連携状況を把握する。

時期：平成28年７月

対象：居宅介護支援事業所、小規模多機能事業所、地域包括支援センターの介護支援専門員

内容：平成28年6月に担当したケースの入退院時の連携状況等

対象：136人　　回答数98人　　（回収率72.1％）

（2)病院と介護支援専門員の連携調整会議の開催

目的：医療と介護の切れ目のない連携を図るため、病院関係者と介護支援専門員等の入退院支援における連携のあり方（退院支援ルール）を協議検討する。

開催日：平成28年10月12日（木）

内容：病院と介護支援専門員の連携に関する調査結果の報告、望ましい患者・利用者の姿を目指して、課題について具体的対応を意見交換

参加者：病院看護部長・地域連携担当者、介護支援専門員、市地域包括支援センター職員等　　89人

**(3)私の介護・医療安心カード作成・配布**

カードの使い方・目的：患者があらかじめ、担当ケアマネジャーや療養支援関係者の情報を記載し、お薬手帳とともに携帯しておくことで、療養支援者間の連携がスムーズになり、個別性を重視した安心で切れ目のない支援を受けることができる。

配布先：居宅介護支援事業所、調剤薬局、訪問看護ステーション、病院地域連携室、グループホーム、特別養護老人ホーム、小規模特別養護老人ホーム等

**8　地域連携クリティカルパス推進事業**

医療機関から在宅へ安心して戻れるよう切れ目のない医療を提供し、急性期から回復期、維持期に至るまでの地域連携の推進を図るため、地域連携クリティカルパス推進事業を実施している。

甲賀地域では、平成21年度から脳卒中とがんの地域連携クリティカルパスの試行運用を開始し、平成22年度からがん地域連携クリティカルパスを県内統一様式で開始し、平成24年3月から「甲賀地域連携クリティカルパス(脳卒中)」運用を開始した。平成26年度からは「脳卒中地域連携パスを県内統一様式」で運用している。

（1）脳卒中

①運用症例数：4件　　（平成21年度運用開始－平成29年3月31日　症例数：141件）

②甲賀地域医療連携クリティカルパス脳卒中実務者会議

開催日： 7月8日、11月4日、2月3日

出席者： 管内病院(公立甲賀病院、甲西リハビリ病院、生田病院、甲南病院、紫香楽病院)、甲賀保健所

内容： 脳卒中クリティカルパスの運用症例の検討

県脳卒中パス運用要綱改訂(案)について